

公開文書

令和5年8月7日 (臨床研究に関する公開情報)

水戸医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している方の個人情報等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 化学療法実施後にインフュージョンリアクションを発現した患者の特徴～ハーセプチン+ドセタキセルを実施した乳癌患者～

[研究機関名・長の氏名] 国立病院機構水戸医療センター 米野琢哉

[研究責任者] 国立病院機構水戸医療センター 5階東病棟 看護師 小野寺舞

[研究の概要] 今回の研究では、乳癌患者のハーセプチン+ドセタキセル初回投与のうち、インフュージョンリアクションが発生した患者の特徴をカルテよりデータ収集を行い、発生リスクの高い患者の特徴を明らかにすることで、今後の看護の質の向上へ繋げていく。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

2018年4月1日から2023年3月31日までに水戸医療センター5階東病棟にて乳がんにおけるハーセプチン+ドセタキセル初回投与を施行した女性の患者さんが対象になります。

○利用するカルテ情報

カルテ情報：患者さんの情報：臨床所見（年齢、BMI、病期、既往歴）、生活背景（結婚の有無、子供の有無、家族構成、キーパーソンの有無、仕事の有無、喫煙歴の有無、飲酒の有無）、精神面（病気の受け止め方、不安の訴えの有無）、治療（乳腺疾患の手術歴の有無、内服薬の有無）

[個人情報の取扱い] 特定の個人を直ちに判別できる情報（氏名、住所、診療録番号等）は利用せず、研究対象者に符号もしくは番号を付与し、対応表を作成します。対応表は研究責任者が鍵の掛るロッカーに保管し、自施設外に個人を判別できる情報の持ち出しは行いません。

本研究結果が公表される場合にも、研究対象者個人を判別できる情報を利用しません。また、本研究の目的以外に、本研究で得られた情報を利用しません。

* 研究に情報を利用することをご了承いただけない場合には以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

茨城県東茨城郡茨城町桜の郷 280 番地

国立病院機構水戸医療センター 5階東病棟 小野寺・江田

電話 029-240-7711 FAX 029-240-7788